

第33回 源氏物語アカデミー プログラム

開催日	時間	内容	会場
10/21 (金)	18:00 18:15	開講式	ホテル クラウンヒルズ 武生
	18:20 19:20	講義「藤原道長と信仰」 同志社女子大学名誉教授 おぼろ や ひさし 隴谷 壽氏	
	19:30 21:00	講義「源氏物語と陰陽道」 京都女子大学教授 なかしま わ か こ 中島和歌子氏	
10/22 (土)	8:30 10:10	現地研修「北陸一の古社 舟津神社参拝」 研修1 舟津神社本殿等解説 高嶋建築研究所代表 高嶋 猛氏	舟津神社
	10:35 11:35	研修2 平安時代の神祇制度講義 舟津神社宮司・東京大学名誉教授 橋本政宣氏	越前市文化センター 小ホール
	11:35 12:20	昼食	越前市文化センター 小ホール
	12:35 14:00	「紫ゆかりの館観覧と紫式部公園散策」	紫式部公園ほか
	14:40 16:10	市民公開講座「源氏物語における出家と道心」 東京大学大学院教授 たかぎ かずこ 高木和子氏	ホテル クラウンヒルズ 武生
	16:25 17:55	市民公開講座「源氏物語と天神信仰」 東京大学名誉教授 ふじ わら かつ み 藤原克己氏	ホテル クラウンヒルズ 武生
	18:30 20:00	宴席「紫きぶ御膳」	料亭 鎌仁別荘
10/23 (日)	9:00 10:30	原文講読「源氏物語に見る賀茂・住吉信仰」 -「葵」巻の賀茂祭・「若菜下」巻の住吉参詣場面を読む- 京都先端科学大学教授 やま もと じゅん こ 山本淳子氏	ホテル クラウンヒルズ 武生
	10:40 12:10	講義「紫式部が見た仏像」 同志社大学教授 いの う え かず とし 井上一稔氏	
	12:10 12:30	閉講式・講評 監修者 隴谷 壽氏	

※ プログラムの内容は変わることがあります。

- ◇参加会費 ●受講料 / 4,000円 (各講義/原文講読) ●現地研修 / 4,000円 (バス代・昼食)
●講義テキスト / 2,000円 ●紫きぶ御膳 / 7,000円
●22日講演 (14:40~17:55) / 越前市民公開講座

◇申込期限 **9月30日(金)** [お申込み・お問合せ] 源氏物語アカデミー委員会
期限厳守でお願いします。
〒915-0832 福井県越前市高瀬2丁目3-3 越前市文化センター内
TEL 0778-23-5057 FAX 0778-21-1975
Email: info@genji-ac.jp



紫式部公園

写真/河合俊成

第33回源氏物語アカデミー

監修 同志社女子大学名誉教授 隴谷 壽

テーマ 源氏物語と信仰



渡辺玉花 源氏物語五十四帖「漕標」

会期：令和4年10月21日(金)～23日(日)

会場：ホテル クラウンヒルズ武生ほか

主催：源氏物語アカデミー委員会 紫式部顕彰会
共催：(公財)越前市文化振興・施設管理事業団
後援：福井県 福井県教育委員会 越前市 越前市教育委員会 武生商工会議所
(一社)越前市観光協会 福井新聞社 NHK福井放送局 古典の日推進委員会



第33回 源氏物語アカデミー

テーマ 源氏物語と^{しんこう}信仰

源氏物語アカデミーへの誘い

紫式部が生涯にたった一度だけ都を離れて過ごした福井県越前・武生では、毎年テーマを決めて「源氏物語アカデミー」を開催しています。今年で三十三回目を迎えるこの催しは、『源氏物語』を読み継ぐ皆さんや古典文学・歴史ファンが全国からこの地に集い、ともに学び合う場として定着してまいりました。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、二年間延期された令和四年のアカデミーのテーマは、「源氏物語と信仰」です。登場人物の行動の根底にはどのような信仰が関与していたのかなどを、各講師の先生方あらゆる側面から解き明かしていただきます。それでは、陰陽道、仏教、天神信仰、賀茂・住吉信仰から『源氏物語』を追究する濃厚な三日間をどうぞお楽しみください。

講義 「藤原道長と信仰」

10/21(金) 18:20~19:20



籙谷 壽氏

同志社女子大学名誉教授 日本古代史、平安時代の政治・文化
同志社大学文学部文化史学科卒
主な著書に『源頼光』(吉川弘文館)『清和源氏』(教育社)『王朝と貴族』(集英社)『藤原氏千年』(講談社現代新書)『源氏物語の風景』『平安貴族と邸第』(吉川弘文館)『藤原道長』『藤原彰子』(ミネルヴァ書房)『平安王朝の葬送』(思文閣出版) 紫式部顕彰会理事(京都)。公益財団法人古代学協会理事長。第5回から源氏物語アカデミー監修者に就任。平成17年度京都府文化功労賞受賞。令和3年度京都市芸術振興賞受賞。

講義 「源氏物語と陰陽道」

10/21(金) 19:30~21:00



中島 和歌子氏

京都女子大学文学部教授 神戸大学文学部卒、同大学院文学研究科修士課程修了、同大学院文化科学研究科博士課程単位取得退学。
『枕草子』を中心に平安文学を、陰陽道を中心に平安文化を研究。
主な著書に、『源氏物語研究集成第六巻 源氏物語の思想』(風間書房)、『平安文学と隣接諸学2 王朝文学と仏教・神道・陰陽道』(竹林舎)、『枕草子 創造と新生』(翰林書房)、『藤原道長事典』(思文閣出版)、『新 陰陽道叢書 古代巻』(名著出版)がある(すべて共著)。

市民公開講座 「源氏物語における出家と道心」

10/22(土) 14:40~16:10



高木 和子氏

東京大学大学院人文社会系研究科教授 国文学、平安朝文学
東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士(文学)。
『源氏物語』を中心に、平安時代の物語や和歌を研究。
主な著書に、『源氏物語の思考』(風間書房、第五回紫式部学術賞)、『男読み 源氏物語』(朝日新書)、『女から読む歌 源氏物語の贈答歌』(青簡舎)、『コレクション日本歌人選 和泉式部』(笠間書院)、『平安文学でわかる恋の法則』(ちくまプリマー新書)、『源氏物語再考 長編化の方法と物語の深化』(岩波書店)、『源氏物語を読む』(岩波新書)。

市民公開講座 「源氏物語と天神信仰」

10/22(土) 16:25~17:55



藤原 克己氏

東京大学名誉教授、国文学、平安時代の和歌・物語・漢詩文、東京大学文学部卒(国文学専修課程)、東京大学大学院博士課程退学、岡山大学教養部講師、神戸大学文学部助教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授、武蔵野大学特任教授を歴任。著書に『菅原道真と平安朝漢文学』『菅原道真 詩人の運命』、編著に『古今和歌集研究集成』第三巻、共著に『日本の古典古代編』『源氏物語におう、よそおう、いのる』『二〇〇八年パリ・シンポジウム 源氏物語の透明さと不透明さ』など。紫式部学会会長。

原文講読 「源氏物語にみる賀茂・住吉信仰」

—「葵」巻の賀茂祭・「若菜下」巻の住吉参詣場面を読む—

10/23(日) 9:00~10:30



山本 淳子氏

京都先端科学大学人文学部教授 京都大学文学部卒業後、京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士(人間・環境学)。
主な著書に『源氏物語の時代——一条天皇と后たちのものがたり』(朝日新聞出版、サントリー学芸賞受賞)、『平安人の心で「源氏物語」を読む』(朝日新聞出版、古代歴史文化賞受賞)、『誰も教えてくれなかった「源氏物語」本当の面白さ』(林真理子氏と共著、小学館新書)、『紫式部集論』(和泉書院)『紫式部日記と王朝貴族社会』(和泉書院)、『枕草子のたくらみ——「春はあけぼの」に秘められた思い』(朝日新聞出版)など。

講義 「紫式部が見た仏像」

10/23(日) 10:40~12:10



井上 稔氏

同志社大学文学部教授 仏教美術史 同志社大学大学院修了、滋賀県立琵琶湖文化館・学芸員、東京国立文化財研究所・研究員、奈良国立博物館・主任研究員、1999年4月より同志社大学助教授2005年4月より現職。
〈著書〉『日本の美術312 如意輪観音像・馬頭観音像』(至文堂)、『日本の国宝 唐招提寺』(週刊朝日百科6)
〈論文〉「十一面観音像の表現」『室生寺から見た古代山寺の諸相』『勝持寺薬師如来檀像について』など。

現地研修 10/22(土) 8:30~14:00

「北陸一の古社 舟津神社参拝」



舟津神社参道

舟津神社は、紫式部の時代より50年程前、朱雀天皇の御代に編纂された『延喜式神名帳』(927年)に記載されている神社です。鯖江市の市街地の南端部に弥生時代後期から古墳時代にかけての古墳50基が散在する「王山古墳群」があり、その東山麓にこの神社が社叢を定めて鎮座しています。

江戸後期の白木・木造の大鳥居を潜ると、別世界のような参道が続き、その先に本殿が現れます。現在の本殿は、竣工年(1820)の他、資金調達、棟梁、建築材料などが文書として残されている稀有な建物です。社伝によると、崇神天皇時代に、北陸を平定したという大彦命が、当時沼地だった鯖江で、舟を着けたところを舟津といい、後に大彦命を祀って舟津神社ができたということです。

今回は鳥居や本殿等の説明を、ふくいへりテージ協会顧問で、古建築に精通しておられる高嶋猛氏にお願いしております。また舟津神社の宮司の橋本政宣氏は、平安時代の歴史、文学研究者の座右の書『公家事典』(吉川弘文館)や、『賀茂信仰の歴史と文化』(思文閣出版)の編者になっておられますので、この度の「平安時代の神祇制度」もきっと内容の濃いお話になると思います。

研修1 於 舟津神社

舟津神社本殿等解説

高嶋 猛氏
たかしま たけし



京都大学博士(工学)
福井県生まれ。福井大学建築学科卒業。
昭和52年~平成28年福井大学教員(建築学)
専門は建築史・建築設計、歴史的建造物の調査、復元・保存・改修計画等

委員：文化財保護審議会委員—福井市、越前市、大野市
伝建群保存審議会委員—小浜市(西組)、若狭町(熊川)
福井の歴史的建造物等活用推進会議委員
ふくいへりテージ協会顧問 ほか
著書：越前市の歴史文化図鑑(共著)2016年 越前市編 ほか

研修2 於 越前市文化センター小ホール

平安時代の神祇制度講義

舟津神社 宮司 橋本 政宣氏
はしもとまさのぶ



博士(歴史学)、國學院大学文学部史学科卒、同大学院文学研究科博士課程中退。
神奈川県立追浜高校教諭、東京大学史料編纂所教授。神社史料研究会代表、神社本庁教学顧問、越前市文化財保護委員。

主 著：『近世公家社会の研究』(吉川弘文館、第1回徳川賞受賞)
主要編著：『神主と神人の社会史』(共編 思文閣出版)、『近世武家官位の研究』(編著 続群書類従完成会)、『橘曙覧全歌集』(共編 岩波文庫)、『神道史大辞典』(共編 吉川弘文館)、『社家文事の地域史』(共編 思文閣出版)、『公家事典』(編著 吉川弘文館)、『文化財からみる越前史の歴史文化図鑑』(共編 越前市教育委員会)